

## 役員一覧



取締役  
青木 良三

代表取締役  
今関 智雄

代表取締役社長  
安中 正弘

取締役  
忝山 聡一郎

### 取締役 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長	安中 正弘
代表取締役	今関 智雄
取締役	青木 良三
	忝山 聡一郎
	名和 高司 <sup>※1,2</sup>
	青木 克寿 <sup>※1</sup>
	板谷 正徳 <sup>※1,2</sup>
	諏訪原 浩二 <sup>※1</sup>

### 監査役 (2015年6月24日現在)

監査役(常勤)	渋谷 辰興
	井上 純一
監査役	船津 義和 <sup>※3</sup>
	木崎 雅満 <sup>※3</sup>

※3 船津義和氏及び木崎雅満氏は、社外監査役です。

※1 名和高司氏、青木克寿氏、板谷正徳氏、諏訪原浩二氏は社外取締役です。  
※2 名和高司氏及び板谷正徳氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

## 社外取締役メッセージ



一橋大学大学院  
国際企業戦略研究科  
国際経営戦略コース 教授

名和 高司

当社がCSV経営に舵を切ったことで、象徴的な案件が出てきたことを高く評価しています。特に「ヘルスケアREITの上場」は高齢者施設の不足という社会的課題の解決につながる好事例案件です。単にヘルスケア施設を提供していただくだけではなく、当社グループの持つICT関連サービスを組み合わせていくことで、これからの高齢社会をより豊かにしていけるものと考えています。また、福島県広野町における太陽光案件も、東北支援とグリーンエネルギー創出という2つの社会的課題の解決につながる当社らしい案件であります。このような案件が中期計画の1年目から創出できたことは、当社として大きな成果です。さらに社会的課題の解決に向けたICT活用領域はまだまだ拡大余地があり、今後の成長性を大いに期待できると感じています。このようなCSV経営への流れを加速させるためにも、個々の社員に対してCSV意識を定着させる活動をさらに加速する必要があります。社員個人がCSVという考え方を通じて自分が提供する社会価値を想起できるようにすることで、モチベーション向上や業務成果・品質の向上が図られ、最終的には業績向上につながっていきます。CSV経営を磨き上げることで、当社ならではの「ICT×金融サービス×CSV」という他社にはない当社の独自性が確立できるよう今後も支援してまいります。

取締役会への参加を通じ実感したことは、当社では8名という少人数により構成され、かつ、半数が社外ということもあり、率直な議論が活発に行われている、ということです。

私は社外・独立取締役として、次の二点に留意し、活動しています。

第一に、あまり物分かりよく振る舞わないこと。当社の業務は金融サービスの提供であり、私の土地鑑のある分野ですので、社外取締役の役割として、質問をし、回答を受けることを心掛けました。執行を担う役員が課題についてキッチリと分析、検討し、果断に実行しているかを監督することが重要と考えるからです。

第二に、この監督機能については、守りの観点にとどまるものではありません。株主の負託に応え、会社の企業価値を高め、CSV経営を推進していく。それが確実に行われているかという攻めの観点です。日本企業ガバナンス強化が議論され、制度整備等も実施されましたが、より重要なことは如何に実践するかです。実践に関する議論も参考にしながら、当社における前向きなガバナンス機能の一層の充実を実現したい、と考えています。

当社では引き続き、長期ビジョンや中期計画の実現を目指して取り組んでいます。今がいわば胸突き八丁の大切な時期であります。これにも関連して業務の担い手である人材の確保、育成が重要となります。この点についても経営のコミットメントについて、よく見てまいります。



元野村ホールディングス株式会社  
取締役

板谷 正徳